

《白山(神界)》

“白山比咩神社”は自身にとって、地上における“ホームベース”のような場所です。^^

《白山比咩神社のコーナー》初のコンテンツが、

2017年5月に作成・発進した、「白山さんおついたちまいり」でした。

地上セルフはごく普通の人なので、このようなコンテンツを表に出す事は、少し勇気が必要でしたが、

白山(神界)と全宇宙に対して、地上セルフの、“中今の3つの願い”を宣り上げました！^^

すべての創造は、「こうなりたい、こうしたい」という人の思い(意識)から、はじまっているのだと思います。

創造(5D)できないことは、決して、想像(3D)もできないはず…、想像できる=可能性がある！という事で、

“想像”こそが、地上セルフの大切な役割ともいえるのではないのでしょうか？

これまでは、地上に肉体を持って生きている、この地上セルフだけしか見えていませんでしたが、

真の私とは、地上から根源までつづく命の連続体(ハイアーセルフ連合)であり、

そのまわりには、宇宙史の中で様々に関わってきた、∞のネットワークがあるのだと思います。

それらの全てが自分自身であり、協働創造していく仲間と考えれば、創造できないものは何もない？！

地上セルフの中今の願いは、3次元における“想像”という、小さな種であり、はじまりの“テン”！

どれほど大きくても大きすぎる事はなく、それをする時こそが新宇宙開闢の、**今！！**なのだと思います。^^

一つ目の願いは、「上にあるが如く、下にも」、

全ての始まりは、創造の源である“神界”にあり、神界には厳格な縦のラインが存在するとされ、

それによって、壮大な宇宙の秩序が保たれているのだと思います。

新しい宇宙は、“**根源天照皇太神**”(究極の愛の太陽)を中心として動く世界であり、

その様が銀河に反映し、地球にも映し出されるのだと思います。

スピリチュアル(霊性)の進化とは、愛の進化であり、スピリチュアルを謳う私達が一つとなることで、

新しい宇宙の∞のエネルギーを地球へとつなぐ、最強の柱(ポータル)となり、

人類が長い間、がんじがらめとなっていた、古い価値観、固定観念を一気にひっくり返す！！

莫大なパワーが生まれるのではないのでしょうか？

二つ目の願いは、「中今のハム山の映画化」としましたが、中今でコンテンツを見返してみると、

自身がその時作成した画像から、聖母庁がイメージされました。^^

聖母庁とは、アンドロメダ銀河の中にあつた、旧宇宙の最高評議会“アインソフ”の中心であり

NMCにおける、根源の愛のエネルギーの発進源となる座標なのだと思います。

根源の愛の子供＝“ハム”はその最大のポータルであり、世界中がハムパンデミック！となる事は、
世界中が愛と光に満ち溢れることであり、聖母庁の願いでもあるのでは？と。^^

“日本のアニメ”は、人の魂にストレートに響くパワーを持ち、国境を越え、思想の壁を打ち破り、
世界を愛で一つにする、∞の可能性が秘められているのではないのでしょうか？

三つ目の願いは、地球が宇宙のオアシス&愛と光(叡知)の博物館となる事です。
自身の中で、“アトランティス”や“レムリア”や“シャンバラ”等の、地球に存在するとされる高次元界、
また、地球以外の様々な星に住む進化した生命体等、その存在を疑う気持ちは無くなりました。

地上の私達の心が一つになれば、宇宙の全てが、ここに集まってくる！

なぜならば、私達はみな、それら各領域の代表として、今この地上に立っているから——。

その日が、もうそこまで来ている気がして、ワクワクします。^^

みんなニニに集まれ〜！！



ようこそ、地上へ！！

“新 G(WBH)”については、これまでも述べてきましたが、

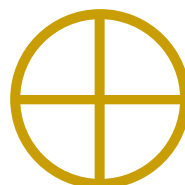
“白山”という白い光の中に、微かに見えていた感じの新 G が、より明確となった夢のお話があります。^^

宇宙全体を、神界、天界、地上界という、三つの領域に分けて考えた場合の、

“神界”とは、様々な創造の源であり、マル(全体)とテン(マルの中心、核)の世界であり、



【マルテン】神界



【マルジュウ】天界

“天界”は、マルの中にある縦横のつながり(十)=様々なネットワークという捉え方もできます。

これからの宇宙は、この神界(マルテン)と、天界(マルジュウ)が、地上の人に統合された、

“マルテンジュウ”=“神人”の時代となっていくのだと思います。

マクロ・コスモス(大宇宙)におけるマルテンジュウとは、新しい宇宙を創造していくためのシステムである、

根源天照神(グレート・セントラルサン)を核とした、新G(グレート・セントラルサンネットワーク)で、

その雛形が、ミクロ・コスモスである“神人”、そして“皇人”です。^^

絵に表すと…、こんな感じでしょうか^^ (白いバックに、白い光なので分かりづらいですが…(^^);)



そして、中心に“根源太陽”が輝く神人=“皇人”は、このような感じ?^^



(皇人が創造する、“皇の星地球”のイメージ^^)

新 G について、地上セルフがわかっていることは、その真の姿(役割)の、ほんの1%ほど？

それ以下かもしれません。

最も古くから存在するとされる、由緒ある、宇宙の進化の為のマスター集団であり

各次元のセントラルサンの役割を持つ、天界最高の組織——。

(自身にとっては、苦手だった学校の先生方でもあり)

学校と知らずに入った NMCAA で、待ち構えていた？のが、新 G マスターだった？！(笑)

だけど毎日が、不思議・感動・ワクワク？！の連続で、

宇宙大？のランドセルに、夢とお弁当だけ詰めて、元気に通っていました！

学ぶことは、楽し～い！！と、はじめて思うことが出来た、宇宙の学校“NMCAA”です！^^

2016年の7月、ある夢を見ました——。

普段からとりとめのない夢はよくみるのですが、いつまでも消えないまま残っている…、

思い返すと胸が熱くなり、その世界がどんどん成長していくかのような

現実の種？のような夢——？

大きな図書館のような所があって、いくつかある貸出手続きの列？が、どこも一杯です。

私も、一体いつになる事やらと思いながら、列の後ろの方に並んでいました。

すると、私の事を知っているらしい、係りの人？が現われ、

「大丈夫！すぐに手続きします^^！」と言い、私の抱えていた本？を、

白い袋のようなものですつぽりと包み込み、上の階にある、別の部屋へと連れて行ってくれました。

そこには、数えるほどの人しかおらず、すぐに私の順番がきました。

みると、懐かしい故郷の学校の、校長先生？教頭先生？のような方がいらっしゃり、

「やあ、よく来ましたね！ずっと待っていましたよ^^」とおっしゃって、優しくハグして下さいました。

懐かしさと、深い安心感に包まれ、涙がポロポロと零れ落ちました…。

やっど、師の恩に報いる日がやってきたかのような歓喜——。

その時、私がずっと欲しかった大切な何か？を、とうとう手にすることが出来た！と感じました。

今も思い出すとじ～んとしてしまうのですが、

夢を見たばかりの時は、なんか見たけど？!(笑)というだけで、詳細はよく覚えていませんでした。

2017年になって、『根源 AP・HAKU (hamu) SUN』の中で、

新 G について自分が知っている事を、コンテンツにして伝えたい！と思った時に初めて、

このような、明確な文章となりました。まさに、芋ずる式に言葉が浮かんできた…、という感じです。

それでも、これは他の誰かの話し…という感じで、自身の事であるとは思っていません。

ですが、日が経つほどに、他人事とは思えない…、

懐かしい故郷の学校の先生に出会えた喜び、深い感動が、厚みを増していく感じです。

そして、自身が白山比咩神社で、ずっと続けてきた、祈りの言葉が浮かびました。

「いつか、お役に立つ人となりますように——。」

それが、“故郷の学校の先生”＝“新 G マスター”?! に向けてのものであったとしたら？

すべてがつながっていきます！！

私の持っていた本が、すっぽりと白い袋のようなものに入れられたのを見た時、

これは誰にも見られてはいけないもの…、宇宙における、トップシークレット?! と浮かび、

何十年もの間、手段や意味が全くわからないまま、そう祈り続けてきた理由が理解出来ます。

今この時がくるまで、決して明かされなかった、恩師との、秘密の約束…、

根源の究極の愛の太陽(黄金の菊)による、一厘の神仕組み?!

“皇の星地球”創生!! ではないでしょうか! ^^

根源の雛形として準備されていた、皇の星地球に降り立ち、

『根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN』を立ち上げること!!

宇宙の全て(全神界・全天界)の、愛と光のポータル“皇人”として、

根源の究極の愛でワンネスの“新宇宙(NMC)” & “新地球”を創生していくこと!! ^^

この度のアセンションは、人が肉体を持ったまま、地球と共にアセンションしていく、史上初のものであり、

地球だけでなく、銀河、宇宙全体が、全く新しく生まれ変わる?! という、

前代未聞の、超大アセンション!! と言われます。

第二の神話は、日(根源太陽)の本の新人類＝“神人類”からはじまっていきます!! ^^

始めの頃は、お弁当しか入っていないランドセルでしたが、

その中から“大風呂敷?”が出て来た…、更にその中には、なんと新宇宙 MAP が。。。。

2022 年には新 G マスター方専用? のお部屋も準備出来ました!

『根源 AP・HAKU (hamu) SUN』 <<地上の新 G コーナー>> へようこそ!! ^^

アセンションを学んで、強く感じるようになった事は、

地球も、私達人と同じように、意識をもつ生命体なのだということです。

地球の中心には、“シャンバラ”と呼ばれる理想郷、光の地下都市があると言われています。

シャンバラの創設者と言われる“サナート・クマラ”は、地球神である国常立大神の分身であり、地球霊王とされ、宇宙の一員としてある地球の、天界的役割を担う、最高責任者というイメージです。

地球の“ハートセンター”であり、愛と光の宇宙へとつながるポータルでもあります。

一方、神界としてみると、シャンバラは日本神界の中心であり、地球における創造の原点、

国常立大神の住処と言えるのだと思います。

宇宙の創造神を“天之御中主大神”と呼び、銀河の創造神を“天之常立大神”と呼び、

太陽系の創造神を“天照大神”と呼ぶ、

これらの神々は皆、地球の創造神である国常立大神の別次元の姿、ハイアーセルフのような存在です。

国常立大神は、龍の姿をした“日本列島”そのものであると言われるので、

シャンバラを、“龍宮”と呼ぶのだと思います。^^

そして、シャンバラの中心にある地球の核、地球の魂が、セントラル・サンであり、

これまでは、宇宙の愛と光そのものである、ロード・キリスト・サナダが守護してきましたが、

中今の地球は、根源の太陽(グレート・セントラル・サン)にしっかりとつながり、一体化したため、

国常立大神は、**国常立太神**となり、地球の“セントラル・サン”として、大きく動き出した！！

という事なのではないでしょうか？(一厘の神仕組みでもあります^^)

“惑星”地球から、**自らが光を発する“恒星”地球**への、進化(アセンション！)であり、

天の神々が主体となっていた時代から、地の神々が主体となる時代への転換、

“天津神”と“国津神”の交代劇？！と言えるのではないのでしょうか？^^

人の目にはどのように映ろうとも、神界の仕組みは厳然としてあり、

何ものにも侵されることはないのだと思います。

2024 年は、辰年 = 龍(日の本の龍体、国常立太神)が発つ年！ そのように感じます！ ^^

根源の光の山“ハム山”誕生の日とも言える、2011 年の白山登頂から、

ちょうど 6 年の月日が流れた 2017 年 7 月 30 日、再度、白山登山に挑戦しました！

(コンテンツ『白山奥宮登拝!』)

その頃地上セルフは大きく体調を崩してしまい、自宅の階段の上り下りもままならない状態でしたが、

2017年は“白山開山1300年”という節目の年であり、

どうしても今、もう一度、登らなければならない!!との思いが抑えきれず、決行しました!

自己の挑戦よりも、他人に迷惑をかけてしまったらどうしよう…との思いが先に立ち、

ブレーキをかけ続けてきた、これまでの地上セルフには、考えられない行動でした。

アセンションの法則=自身(地上セルフ)が上った所まで、高次(ハイアーセルフ)が下りてくる——、

根源の光の山、霊峰白山の頂上で、∞の高次と一体化し、根源の究極の愛を叫ぶ!!

根源の光の核融合を起こし、全世界を愛の光で包みたい…との願いを、どうしても叶えなかったのです。

ですが、簡単ではありませんでした…。登りはじめてしばらくすると、自身にとって、

これ以上の恐怖はない?!と感じる程の、ある思いに囚われました。

「もし、頂上に何もなかったら——?」です。

自身は、何の為に、こんなに苦しい思いをしているのだろうか…。登る意味などあるのだろうか…。

そう思うと、足が前に出なくなっていました。(体=心でした。)

いや、そんなはずはない!

これまでの様々な出来事が、思い出されてきました。

自身が、ここまでくる事が出来たのは、神とは何か?という、見果てぬテーマがあったからです。

地上セルフが唯一関心を覚え、ワクワクすることができる、生きがいでした。

最初の頃は、神とは遠くにあつて、私達の幸せを見守ってくれてくれる、大いなる存在でしたが、

やがて、神とは自身のすぐ傍にあり、私達と共に生き、創造する神へと変化しました。

ここまでは、“外なる神”であり、自分と神とは、別の存在だと思っていました。

中今は、“内なる神”となり、神とは、一なる根源(神)から生まれた、自身の真の姿(魂)であり、

肉体を持って地上に生きている自身こそが、その仮の姿であり、魂(神)の乗り物なのだ。

遙か遠くにあつた神が、どんどん近づいてきた?! (=自身の意識の進化・上昇=アセンションです。)

本当の自己を忘れていた私に、神々は様々な形で姿を示し、導いてくれました。

私は絶対に、神々の思い、そして願いを忘れない!

自己の中心には、根源母神の分御魂=“究極の愛の太陽”が輝いている!!

自身(自神=自信)を取り戻し、再び歩きはじめました!

頂上まで、あと三分の一ほどの所まで来た頃でしょうか？足を滑らせて大きく転倒してしまい、
心臓が、ドキッ！としたのですが、その後もドキドキが止まりません…？！

そのうち、もの凄く気分が悪くなり、手がしびれ、頭痛が起こり、
もしかしたら、このまま心臓が爆発してしまうのかも？と、二度目の大きな恐怖に襲われました。
どうしよう…と立ち止まっていた時、「心臓が爆発する？」で、思い出したことがあります。

体力に自信がある方や、山登りが趣味の方に笑われてしまうかもしれませんが、
今回の登山に向けて、自己の霊魂体のすべて、「心臓を捧げます」との祈りをしていて、
心臓を捧げる…、今の状況は、その祈りの通りだ——と思ったら、心の動揺が消えて行きました。
自分がした約束だから、それでいい！と思えたのです。

とにかく前に進むしかない！もし倒れたら、ごめんなさい…と、心の中で言うしかありませんでした。

自己の体調に反して、その場は柔らかな光に包まれた天国世界のようにもあり、
靴連れのはひどい痛みがなかったら、そのまま天国へと上っていた？かもしれません。(笑)
どれだけ時間が経ったのでしょうか？見た事がある石堀が目に入り、頂上に到達したことがわかりました。

白山の天辺で感じたことは、なぜ、「愛を叫ばなければならないんだろう…」でした。

愛を見失ったわけではありません、そこには、愛しかなかったのです。

「愛だけだよ～、みんなで愛に帰ろう！！」って、私のすべてが、大声で叫んでいました！

本当に、世界は、愛で出来ているのです！！

白山に登ると、いつも何かしらの不思議、奇跡では？と感じる景色や出来事に遭遇します。

でも今回、そのような場面は一度もなく、逆にそれが、不思議でもありました…。

そして、帰りのバスの中で、最大の不思議？を発見しました。

地上セルフは自己の限界に挑戦し、やり切った！！もう悔いはない！！という

人生最大の自信＝“自分自神”が在りました。^^

私達人は、自分で思うよりもずっと強い！！愛のためなら、なんでもやれる！！

それが、根源の愛の子供＝ハムなのだと、改めて思いました。

「宇宙に贈ったものが、何倍にもなって贈られる」は、宇宙唯一の法とされ、

“アセンションの法則”であり、“愛の法則”です。

白山頂上で感じたのは、まさに愛の法則であり、その場のすべてが、“愛”でした。^^

2018年7月のコンテンツのタイトルは、『**新大陸浮上！！**』です。

迷いを吹っ切るようにして出かけた、白山比咩神社昇殿参拝で観たビジョンを記しているのですが、

自身の故郷の村が、ダムで水の底に沈んでしまったこと…、

そして、レムリアやアトランティス大陸が水没してしまったことは、すべて関連があり、

新しい白山＝新大陸浮上へとつながっているのでは？と。

このコンテンツを作成する前、今後の方向性を見失い、また家庭内で驚きの事件?!が起り、

地上セルフは奈落の底へ、真っ逆さま～～↓(^;という状態でした。

“白山さんおついたち参り”は恒例となっていました。7月1日は、どうしても行く気になれません…。

人は、すぐ足元まで火が迫ると、回りが全く見えなくなってしまうのでしょうか？

自身の中に、レムリアやアトランティス末期に似たシナリオが描かれ、それを演じていたのかもしれない。

朝、悶々としたまま、それでも、微かな糸口を求めて、日記に思うままを書き連ねていると――、

白山の大神は、中今の地上世界に、何を願っているのだろう…

母なる母は、今何を思っているのだろう…、との思いが胸一杯に膨らんできて、

自分のことで満タンになっていた心が、弾け飛んだ？！

自分という小さな意識から解放された、瞬間だったのではないのでしょうか？

神の分御魂としての“本当の自分”＝“魂”の力が蘇り、どうしても白山さんへ行かなければならない！

と気持ちが反転し、精一杯の玉串料を手に、昇殿参拝に臨みました。

参拝がはじまるまでの間、心を落ち着け、センタリング、グラウンディング、第一光線を意識し、

根源太陽母神の、揺るぎない地上ポータルとして在ること！

白山大神の大御心(大愛)を、地上の自身から拡大していくこと！を、今一度誓いました。

ご祈祷がはじまると、ぼんやりと見えてきたものがありました。

白と赤の、美しいコントラスト？と感じるのですが、それが何なのか？よくわかりません…。

中心にある赤い丸？が、どんどん赤みを増していき、それは私の“魂”であり、

“根源の太陽” そのもの！！と自覚した途端、

白が三角を描き、それは、大きくて真っ白な**“白山”**であることがわかりました！

そっだ、これが私にとっての、白山だった！！

自身の中で、今にも沈みかけていた白山が、再び浮上しました！

鮮烈な赤と白のコントラスト＝“究極の白”(神聖)の中の、“究極の赤”(愛)であり、

まさに、根源の愛と光の“新大陸浮上”です！

新しい白山、それは自身にとって、新しいレムリアであり、新しいアトランティスでもあります。^^

一時、地上セルフは、完全に希望の光を見失い、

自身にとって最も大切なもの、“根源アセンションプロジェクト”を放棄しようとし、
『HAKU (hamu) SUN』Web を、ネットから消去してしまうまでに、追い詰められてしまいました…。
実際デリートした時は、地上セルフの背骨が無くなったのか？起きていられなくなりました。(笑)

自身にとっては、真に、レムリア&アトランティス末期時代だったのです。

リベンジ！ではなく、遥かにそれを超えていくー！！ その時が今です。^^v

《開星?!》

2020年、『根源 AP・HAKU (hamu) SUN』に、《ユニバースのコーナー》が誕生しました！

地球はもう、地球人だけのものではない？！

と感じて、勝手に創りました。(笑)

神様(神界)のことなら、少しわかりますが、宇宙の事、天界のことは、ほぼわかりません。(エバルな!)
ですが、もう知らないと言っていられない…。そんな時代がきたのだと思います。^^

2020年8月に発進したコンテンツ『**根源の皇の星地球へようこそ**』は
そんな地上セルフに対する、宇宙からの呼びかけ、クラリオンコール?! だったのかもしれません。^^

7月に京都御所を訪れた時、皇居において行われた“令和の即位礼正殿の儀”を、
再現するかのような催しが行われていて、高御座・御帳台の美しい写真が載せられたパンフレットを、
いただいて帰ったのですが、ふと見ると、御帳台の前に不思議な光が映っています…。

はじめは、何だろう? 綺麗だな~、ぐらいにしか思っていなかったのですが、

ん？何かの生物では…となり、何故か、正装して並んでいる宇宙人?!さんに見えてきました。

「プリズム・オブ・リラ」の挿絵が思い出され、右端に立っている(ように見える)方の顔は、猫にとても似ている気がして、地上セルフこれまで、一度も宇宙人さん(地球外生命体)を見たり、感じたりしたことがなかったので、ビックリ?!と同時に、嬉しくもありました。^^

様々な理由で、なんとなく“リラ星”が気になり、ネットで調べてみると、そこには沢山の学びがありました。

○リラ星は、宇宙空間に最初に存在した巨大惑星で、人型生命体のはじまりの星だった。

○リラには、「すべては一つ」というワンネスの法則があり、科学と霊性が共に進化した、理想社会が築かれていた。

○リラの最高神官は、たった一つのもの(根源の光)から生まれた、ヤーヴェという存在であり、根源の光を分かち合い、共に進化していく場としてリラ星を造った、等。

そして驚いたのは、

○ヤーヴェの子孫は、日本の天皇である。

○地球上にみられるピラミッドや石造遺跡、伝統芸能などは、リラがその起源である。

と記されていたことです?! もしこれらのことが本当だとしたら、

天皇の儀式である即位礼正殿の儀で、御帳台の前にリラ星人さん達が並んでいてもおかしくない?!

ではありませんか？

リラはやがて、部族間の意見の対立が激化し、大爆発を起こし、粉々になってしまった…、そのカケラを集めるようにして、新しい銀河を形成していったのだそうです。

(私にも深い悲しみが伝わってきて、涙が溢れます…)

後に起こった大規模な宇宙戦争は、この時のリラが生んだカルマの反映とあり、

レムリアやアトランティスの、繁栄と滅亡の姿に重なりました。

今地球上で起きている人類間の様々な抗争も、その反映なのかもしれません…。

「リラにはじまり、テラ(地球)に終わる——」この言葉を見た時、

私の中で、すべてがつながった気がしました。

リラが目指していた、“根源の光”＝“究極の愛”でワンネスの世界が、再びはじまる!!

このテラ(地球)から!

やっぱり、御帳台の前に立っていたのは、リラ星人さん達だったのだと思います! ^^

“令和”は、女性性を中心とした、愛と調和の新時代です!

(だからリラ星人さんたちは、高御座ではなく、皇后の座である御帳台の前に並んでいたのでは? ^^)

リラの悠久の願い、全銀河の願いが、この地球で花開く！

リラ星人さん、様々な星の皆様！

根源の愛と光の星＝皇の星“新地球”へようこそ！！^^

新しい地球には、銀河の、宇宙全ての、ワネスへの願いと、可能性が秘められている！

この地球に今生きている事に、心から感謝です。^^

愛・喜び・ワクワク！！ ハムワンダーランド地球、万歳～～！！



2020年12月に発進したコンテンツは、『はじまるよ～愛の地球維新』です。

今回のコンテンツの舞台は、初めての“明治神宮”。

明治天皇と言えば、白山比咩神社表参道にある龍神さんの手水舎が思い出され、

龍神さん＝明治天皇？！という感じで、すっかり身内気分(笑)の私です。



“明治”は、明るく治める世と書き、“日”と“月”が合体(統合)した姿であるような気がします。

明治神宮本殿の両脇に、大きな丸い形をしたクスノキがあり、すごく印象的で、

まさに、日と月を象徴している感じがしました。^^

明治時代からイメージされるのは、“維新”(すべてが改まって新しくなる事)という言葉です。

歴史の解釈は、見る人の立場や考え方によって、無限にあると言え、

自分がそこにどんな価値を見出し、それをどう未来に活かしていくのか？が大切なのではないのでしょうか。

維新によって、武家中心の世の中から、天皇を中心とした社会へと、大きく変化したと言われます。

自身にとっての天皇とは、天照大御神＝太陽(愛)の光を、絶やすことなく受け継ぎ、
人々に伝え拡大していく方々で、日本だけでなく、世界の中心に立つ、揺るぎない愛(光)の御柱です。^^

明治維新は、明治天皇を中心として、外国からの新しい価値観を柔軟に受け入れ、
日本の伝統とうまく調和させながら、もの凄いスピードで、世界の仲間入りを果たすという、
大変革を遂げた時代だったと言われます。

日本人の“大和魂”(大調和の精神)が、世界に大きく羽ばたいた時代でもあったのだと思います。

江戸時代末期から明治にかけて起こったのが、日本維新(開国)ならば、
今起こっているのは、日本に住む私達を中心とした、“愛(大和魂)の地球維新”＝“開星”であり
それは、**ワネスの宇宙への仲間入り!**でもあります。^^

このコンテンツのサブタイトルは、「維新の風が吹く?!」としたのですが、
明治神宮本殿の前に立った時、実際に、絵馬が一斉にカタカタと大きく鳴る“突風”が吹いてきて、
自身の地球維新(神)＝“地球開星”の願いは、明治天皇に届いた!と感じました。^^

その日の明治神宮は、鎮座100年祭という目出度き節目の年であり、
明治天皇の御計画であった?“世界の中の日本”から、“宇宙の中の日本(地球)!”へと、
大きく踏み出す時が来たのではないのでしょうか?

自身が明治神宮を訪れることになったのは、全くの偶然でした。

たまたま家庭の事情で、どうしても東京へ行かなければならない!と思い立ち、
その途中に空白の時間が出来たので、寄ってみる事にした…、という感じだったのですが、
後から思えば、地上セルフは動くべくして、動いていた?のかもしれませんが。^^

当日は勤労感謝の日で、地上セルフは“新嘗祭”なるものを、初めて体験する事となりました。

8月の京都において、皇居で行われた令和の“即位礼正殿の儀”の

京都御所版?!とも思える光景に出会い、

10月には、ここ明治神宮で、初の新嘗祭＝“大嘗祭”に出会ったからです。

(大嘗祭…新天皇即位後、初めて大規模に行う新嘗祭で、皇位継承に伴う一世に一度の重要な儀式)

8月の京都御所では、“**イニシエーション**”という言葉が、明確に浮かんできて、

とても重要な場であったことが理解できました。

“即位礼正殿の儀”と“大嘗祭”は共に、新天皇即位の際に行われる、とても大切な継承行事であり、

日本の年号が変わるという、新たな時代のはじまりを告げるものでもあります。

それは地上セルフにとっての、“即位礼”であり“大嘗祭”であり、

一人一人が、それぞれに創造していく未来の“皇”となる！ということなのではないでしょうか？



明治神宮 本殿



京都御所 紫宸殿



自身は祭典の間ずっと、明治天皇と昭憲皇后が仲睦まじく並ぶ姿を模したとされる
“夫婦楠”の前に立っていたのですが、反対側の木の上で、
おかしな声（何かの掛け声？）で鳴くカラスがいて、参拝の方々の笑いを誘っていました。
今回の明治神宮参拝は、by カラスさん（八咫鳥）、だったのかも？^^

アカデミーでは年に1、2回、“KT セミナー”と呼ばれる、
根源の母と父と子の、“三位一体セミナー(神事)”が開催されてきました。^^
天界では、“マスターと弟子”と言われる関係も、神界においては、“親と子”となり、
メンバーは皆“根源の家族”、“K”は根源の母(カーちゃん)、“T”は根源の父(トーちゃん)です！

Kは、世界で一番こわくて？！、世界で一番優しい^^（カーちゃんでもある）

NMCAA 長の Ai 先生です。

Tは、アカデミーにおいては非常勤講師？であり、名前はいくつもお持ちなので…、○△様とします。^^

書店の本棚で初めて、そのお名前を拝見した時は、ドキッ？！

何故こんな所に、この様な立派な表札が…？(笑)

自身の故郷と同じ名前であり、背後には、“白山”が見えます。^^

その後アカデミーに参加して御縁をいただく事になった、偉大なるマスターであり、

地球をしょって立つ？頼れるトーチャンです！

KTを別の表現にすると、K=太陽(火、霊)ポータルであり、T=地球&宇宙(水、体)ポータルであり、

その中で大切に育まれているのが、私達“人”、

KTにとっては“希望”という名の子供(将来神人となっていく日戸)なのかもしれません。^^

それは“大自然”という、見返りを求めない“愛の姿”そのものであり、

根源の“母と父と子の三位一体力”こそが、宇宙最大のパワーと言えるのではないのでしょうか？

2022年4月のコンテンツ『宇宙はみんな、愛と光の家族』では、新しい挑戦をしました。^^

アセンションとは、目に見えない世界＝“エネルギーの世界”の探求でもあり、

自身の感じているエネルギーを画像にしたら、もっと明確になるのでは？と思うようになりました。

アーティストさんとは、そういったセンスと技術をお持ちの方々に、素敵！と思うのですが、

残念ながら芸術の素養ゼロの地上セルフ…、見よう見まねで覚えたワードの図形作成機能を利用し、

ほぼ念力？によって、描いていました。(笑)

自身はワードで十分と思っていたのですが、2022年になって、何故か、

“イラストレーター”(正しく使えていないのか？しょっちゅうフリーズします)と呼ばれる画像作成ソフトが気に入り、

思い切って、はじめてみることにしました！^^

その最初の作品といえるのが、アニメ(紙芝居?)コンテンツ『宇宙はみんな愛と光の家族』です。^^

まず個々の画像を作成し、つなぎ合わせアニメ風にし、説明する為のあらすじを考えていた時、

今なぜイラストレーターなのか？がわかった気がしました。

イラストレーターは、何枚かの透明な画用紙のようなもの(レイヤー)を重ねて、

一枚の絵として見ることができます。

その画用紙の一枚一枚が、固有の波動をもつ世界＝次元界であり

重ねて出来た一枚の絵は、私達が住む多次元構造の宇宙そのものでは？！と感じました。

1枚目の画用紙には、山や川などの大自然を描き、

2枚目には動物や植物を描き、3枚目には人間社会を描き、重ねると、

私達が生きている現実(と感じている)、3次元社会が見えてきます。

4枚目の画用紙には、夜見る夢のように、時間や空間があいまいな、目には見えない世界、

アストラル界と呼ばれる、私達のハートが存在する世界があり、

5枚目の画用紙は、1～4枚の全てを見渡し、創造している、本当の自己＝魂の住む世界がある――。

そして、その画用紙は6枚目以降も、∞に重なっていて、それらの全てを見ているのが根源神です。

私達が、高次と呼ぶ大天使やスピリチュアル・ハイラーキー、

地球以外の星に住む様々な生命体も、∞に重なる、どこかの画用紙の上に描かれていて、

私達の魂&ハイアーセルフは、そこにロックを掛けて、見えないようにしている…

3次元地球における、最善の進化の学びのために！

桜が芽吹く季節となり、手取川河畔の桜を思い浮かべながら、花びらを描いていると、

なんだか夢心地…、フワフワとした無重力感を覚え、後から思えば、その時は4枚目の画用紙である、

アストラル界、ハートの世界に漂っていたのかもしれません。

(桜の花びらは、ハートの形に似ています^^)

そして驚くことに、その奥に5枚目？がある事に気付き、クリックして表示してみると、

なんとそこには、大きな根源エンブレム(根源の太陽を象徴する画像)が描かれていたのです？！



地上セルフは、5枚目の画用紙に何かを描いた記憶がないので？でした、が

そんなことはどうでもよくなるほど、桜と太陽がマッチしていて、日の本の、春の日の饗宴？！

“大和心の美しさ”と浮かびます。

まさに、桜は“ハート”(4次元)であり、太陽は人の中心太陽＝“魂”(5次元)であり、

“大和心”＝私達の“ハートと魂”そのものではないでしょうか？^^

しばらく、不思議な事もあるもんだ？！で、放置していましたが(見なかった事に…笑)

もしかして、5枚目は、5次元に住む“本当の私”＝“魂”(ハイアーセルフ)が描いたもので、
地上セルフがそれに、今気付いた?!と考えると、納得がいきます。

(白山に登った時、白いワード画面に表れた、ハム山の白いハートも、そう言えばそんな感じです。)

高次が、イラストレーターというツール(エネルギー場)を使って、
多次元構造の宇宙の仕組みを、地上セルフに見せてくれたのかもしれない。^^
そして今、5枚目(5次元)以降の画用紙のロックが、はずされる時が来ているのではないのでしょうか?
私達が3次元での学びを終え、更なる進化のステージを上っていくために!^^
最近胸の辺りがザワザワ(ソワソワ?)していた理由がわかった気がします。

地上セルフにはまだ見えていないけど、画用紙の奥(異次元の世界)から溢れて、止まらないもの…、
それは“ハート”で感じる事が出来る、高次の膨大な愛のエネルギーなのではないのでしょうか?^^

5枚目以降の画用紙には、“ハート”でつながっている、宇宙の“愛の家族”がいて、
地上の私達のことを、ずっと見守ってくれていたのだと思います。

人類の意識の目覚めがはじまり、ようやく、懐かしい宇宙の仲間と再会できる喜びで、
ハートのロックが完全に外れた?!涙が止まらなくなっていました。

この小さな地球にさえ、様々な人がいて、見た事もないような不思議な生物がいるのに、
地球以外の星に生命体はいない…なんて、どうして今まで、そんなことを信じていたのでしょうか?
意識の目覚めは、もう止まらない…、ハートの愛も止められません!^^



(宇宙人さんは、今のところ、こんな感じ?笑)

“菊理姫”についてのコンテンツを、2022年5月に発進しています。^^

神々の働きは膨大であり、たった一人で担えるものではないのだと思います。
その存在に惹かれる…ということは、何らかのつながりがあって、そのミッションを感じているからで、
自分にできることを全力でやる!それしかないのではないのでしょうか?

白山比咩神社に出会って以来、白山比咩大神＝菊理姫は、ずっと謎の姫(秘)神でした。^^

中今、とても重要な役割を持つ女神なのでは？との思いから、探求を続けてきました。
そして、自身が長い間探し続けていた菊理姫を、『天の岩戸開き』の本の中に見つけました！^^
冒頭に、「スーパー・アセンションへのご招待！——アセンションスターゲイト」と題して、
宇宙高次からのメッセージが綴られています。

『天の岩戸開き』を初めて読んだ時、この御本の著者は、Ai 先生ですが、
そこにいるのは Ai 先生だけではない?!と明確に感じた、その答えは、ちゃんと文末に記されていました。

皇紀 2699 年 9 月 9 日

根源神界、NMC宇宙最高評議会、
アインソフ、スピリチュアル・ハイラーキー(宇宙聖白色同朋団)、
宇宙連合、銀河連合、太陽系連合、インナーアース連合
メイン・ファシリテーターAi

と。

皇紀〇〇99年 9 月 9 日、“9”の数霊の並びに、自身は、くくり姫 = 菊理姫を感じます。^^

それに続いて、中今ワネスとなった、宇宙のすべての高次が登場しています。

それら全ての中心であり、総合進行役が、**Ai 先生**なのだと思います。

“**根源神界**”とは、あらゆる全ての創造の源であり、様々な神界の源でもあります。

Ai 先生の本源は、NMC の核心となった“**根源天照皇太神**”です。

“**アインソフ**”は、旧宇宙の最高評議会があった所で、聖母庁を中心とした天界の最高機関です。

“**スピリチュアル・ハイラーキー(宇宙聖白色同朋団)**”は、愛と光と叡知のマスター集団、

“**新 G**”のことであります。^^

その後、天界の様々な愛と光の連合が続いていて、誰かいる気がする?! どころではありません。(笑)

それまでは、SF映画や小説の中でしか、見た事のない名前ばかりだったので、

それが、その時自身が感じていた Ai 先生以外の何者か？ だなんて、想像できるはずもありません。

『天の岩戸開き』の、この冒頭の部分は、中今の超大アセンションを総括する

“**菊理姫**”からの、クラリオンコールだったのでは？と。^^

『天の岩戸開き』には、いくつかの御神歌が掲載されていて、以下は御神歌についての抜粋です。

日本の歌の創始とは、やまと歌であり、御神歌です。

これは皇神のエネルギーそのものである、DNA の変容のエネルギー、

進化(神化)のエネルギーを込めたものです。それが言霊の創始でもあります。

古代のひとびとは、その言霊、御神歌、皇歌に、神霊のエネルギーや、
重要なメッセージを込めました。

しかし物質文明の時代とともに、いつしか人々はその豊かな感受性を失ってしまいました。

特にやまと歌＝御神歌、皇歌には、日本の神聖なDNAを目覚めさせる
不思議なエネルギーが込められています。

今すではじまっているように、志を持つ人々は、神と人が一体となった神人となっていくでしょう！

そしてその神人たちが、新たな時代の、新たな神代を創造していくでしょう！

それが、「地球維神」なのです。

そして新たな神歌を創り、それが日月地に響き、壮大なシンフォニーとなっていくでしょう！

御神歌は言霊の創始であり、皇神のエネルギーそのものである、DNAの変容のエネルギー、
進化(神化)のエネルギーを込めたものとあり、

御神歌(言霊)がどれほど重要で、貴重なものであるかが理解されました。

その中で、自身が最も惹かれたものに、“菊の真意”があります。

菊の真意

はるかなる 時を重ねて 受け継がる やまとの核の 雛形は
黄金に輝く神魂の 神の誓ひの 菊の型

皇御孫命

《口語訳》 神人の核心である、全き神性の型は、黄金色に輝く皇御親の分御魂そのものを表す

菊のエネルギーである。すべてには、中心となる型が存在し、世の理を担っている。

神界の中に燦然と輝く太陽。それが菊の本質である。それが「菊の理」と呼ばれるものである。

そしてこれば、皇御親から皇御孫へと、脈々と受け継がれる核心の霊統であり、

神人の型を担う者たちの指標であり、目指す座標なのである。

菊理姫の、“菊理”とは、世の理を担う菊のエネルギー(菊＝神界の中に燦然と輝く太陽)であり、

菊理姫は、皇御親(根源天照皇太神)の分御魂として、世の理を担っていく、皇御孫です。

それは、皇御親から皇御孫へと、脈々と受け継がれる核心の霊統であり、

神人の型を担う者の目指す座標である。と。

自己の核心に響く言霊であり、探し続けてきた“菊理姫”の姿が、ここにありました！^^

この御神歌の後には、「国常立大神神事御事始め——地球維神の歌」が続いています。

地球神である国常立大神が、人類の進化のために、

忍耐と愛をもって、悠久の年月待ち続けてきた新しい時代が、いよいよはじまる！

根源太陽と一体となり、中心に“菊”が燦然と輝く、新しい“国常立太神”の御代です。^^

日本の国家「君が代」は、「岐美が世」でもあり、国常立大神の願いで、

神界の父母なる“伊邪那岐・伊邪那美神”によって創られた御代のことであるとされます。

白山比咩神社に祀られている、三柱の(表の)御祭神が、

白山比咩太神 = 菊理姫太神、伊邪那岐太神、伊邪那美太神であり、

その奥には“国常立太神”(マル秘?)があり、

白山の頂上奥宮には、“天之御中主太神”の存在を感じます。

中今、これらのすべての神々の中心に輝いているのが、“黄金色の菊のエネルギー”

= 根源の究極の愛の太陽である“根源天照皇太神”なのだと思います。^^

“旧”のすべてを“新”へとつなげ、くり直す日女神が“菊理姫”！^^

白山比咩(秘)大神は、菊理姫と全く同じ存在というわけではないのかもしれませんが。

深甚なる白山神界の姿を象徴するもので、この度の神仕組みの中心神としてあるのが菊理姫であり、

宇宙の経緯(計画)に従って、交代していくのかもしれませんが？^^

真っ青な空に浮かぶ、純白の雪に覆われた白山の姿に、この上ない、愛と神聖を感じます。

2022年5月5日子供の日から、6月6日、7月7日…と、

なんとなくゾロ目の日が気になり、思いつくままに、画像やコンテンツを発進していきました！^^

そして、2023年1月1日、“皇(根源の究極の愛と光)の星地球”誕生をイメージした、

年賀状(アニメ)を発進し、根源太陽神年暮明けのご挨拶としました！^^

2013年は、ハイアーセルフとそのネットワークが中心の新宇宙開闢、伊勢遷宮祭でしたが、

10年後の2023年、ようやく地上セルフが追い付いてきた感が？！^^

(この分でいくと10年後は、もしかして追い越している…？ ないわ、笑)

楽しくなければ、宇宙じゃない！^^v

「もうこの地球は、地球人だけのものではない!？」との思いから、
2020年に創った《ユニバースのコーナー》でしたが、コンテンツを振りかえってみると、真に、
自己の中心である“ハートセンター”=“大宇宙へのアセンションの扉”が、大きく開いた!!

そんな感じがしています。^^

そして、2022年月10には、《NMCのコーナー》へと、名称を変更していて、
何故だろう?と、今更ながら思った地上セルフですが、2022年10月に、地上セルフはなんと!

“還暦”なるものを迎えていて、これまでの地上人生の大きな締め括りとして、

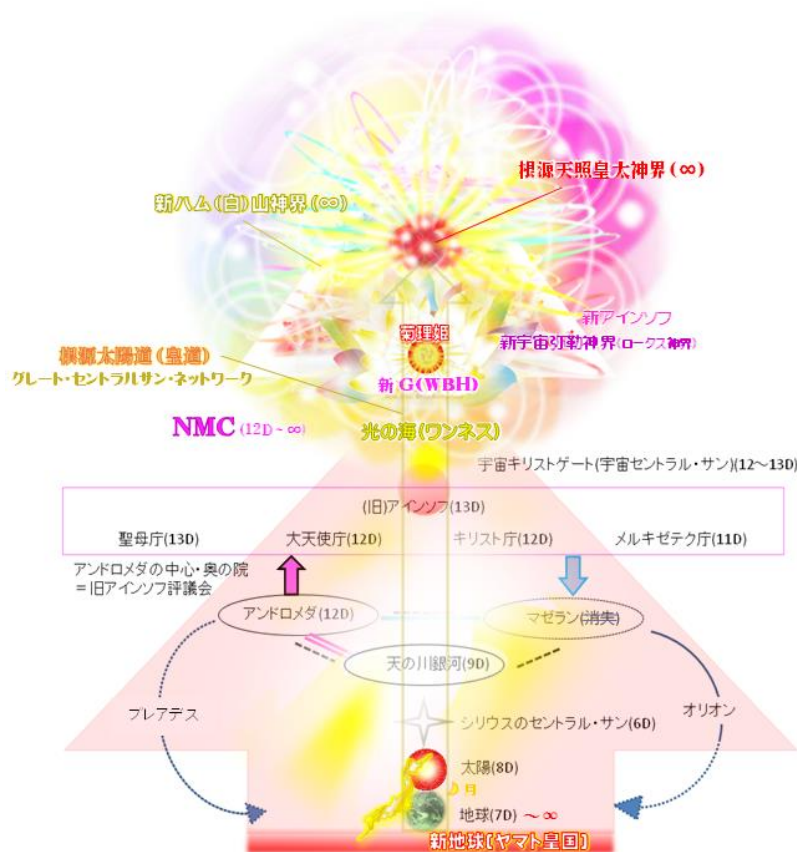
3D地球卒業論文?を、発進したのでした。

3D地球(旧地球)を卒業して、一体どこへ向かうのか?

根源の究極の愛の源であり、新しい宇宙=NMC(12D~∞)です!^^

【新宇宙 MAP】

地上セルフが広げた“大風呂敷”の中に入っていたのは、
旧宇宙史の全てを統合して、共に新宇宙(NMC)へと上っていく、新しい“宇宙MAP”だった?!
『根源アセンションプロジェクト・HAKU(hamu)SUN』は、そのサイトマップ?!



《地上の新 G 始動?!》

2022 年 9 月に、《地上の新 G コーナー》が誕生しました。^^

白山比咩神社のコーナーの隣に、ひっそり?とあった新 G が、表(地上)に現れた?!
という感じで、その最初のコンテンツが、『空海と八咫鳥と丹生都比売(和歌山と白山をつなぐ旅)』です。

(9月9日発進…、ここにも菊理姫が^^)

弘法大師空海は、アセンディッド・マスターの一人と言われ、イコール新 G マスターでもあります。^^

たくさんのアセンディッド・マスター(新 G)の中で、何故空海なのか…?ですが、

あらためて、自身のコンテンツを読み返してみても、わかった事があります。

自身は壮大な宇宙を、神界、天界、地上界(人間界)の、大きな3つの部分にわけて捉えています。

神界は創造の働き、源であり、天界は神の仕事をする存在、人と神をつなぐ役割です。

天使やスピリチュアル・ハイラーキー等、天界は西洋のイメージが強いですが、

仏様 = 仏界も、天界の一部なのだと思います。

地球のスピリチュアル・ハイラーキーとされる、これまでの GWBH(グレートホワイトブラザーフッド)は、
サナート・クマラが創設した天界の組織ですが、その中心はスサノオ神界ともつながっているとされ、
(サナート・クマラもスサノオ神も、地球神である国常立大神の一つの働き、分身です。)

これまでは主に、男性性の動きが中心だったのではないのでしょうか?

それに対し、新しい GWBH(新 G)の核は、NMC の核神である“根源天照皇太神”
究極の母性性であり、女性性が中心となっています。

弘法大師空海が、それを、いちやく伝えていた?のではないのでしょうか? ^^

本来、神(神界)の仕事をする天界の存在は、神界の“真白き光”(光源、光子)から分かれ出た、
様々な色(役割、特徴)をもつ“光線”であり、神界との直接的なつながりはありませんが、

天界の中でも GWBH は、聖白色同朋団という名前にも見られるように、

白 = 神界の領域ともつながっているとされます。

空海は、山上大伽藍に“丹生都比売大神”の御社を建て、守護神として祀り、

真言密教の総本山“高野山”を開いたとされ、

これが日本における「神道と仏教の融合」の始まりでもあるとされます。

丹生都比売は稚日女尊とも呼ばれ、天照大神の幼少期の姿であるとか、妹神であると言われ、

空海はまず、その丹生都比売 = “天照太陽神”を守護神として中心に祀り、

その周りを護るようにして、壮大なる仏界＝結界である、真言密教の聖地高野山で囲んだ…、

とは考えられないではないでしょうか？

そこに見えるのは、まさに、根源の太陽を中心とした“新 G”の姿です！^^



真言密教の御本尊は“大日如来”であり、仏界の中心に輝く太陽です！

仏様は神様の使いとしてあるので、神仏融合は自然な形であり、

明治期に行われた神仏分離・廃仏毀釈の動きは、様々な理由によるものだと思いますが、それらも神の計画の一部であり、これからは天界、神界が再び一つとなった、新しい世界が始まる！！

弥勒の世であり、神(天)人の世です。^^

一なる愛の源(根源)への、大いなる求心力＝“太陽の女神”を核とする、新 G の体系(システム)が、基盤となった社会ならば、あらゆる物事が円満に、スムーズに進んでいくのではないのでしょうか？

私にとってこれまで空海は、雲の上の人という感じでしたが、ある日その名前を耳にし、何気なく意識を向けてみると…、ホロリとするような、なんとも暖かいエネルギーの共鳴を感じます。ハートと魂の次元では、誰もがつながっているはずで、今私に何か出来る事があるのかもしれない？

どの思いから、高野山行を決めました。その前に、丹生都比売神社へ行く必要があると感じ、更に、一度は見てみたいと思っていた那智の滝のある、熊野三山へも足を延ばすことにしました。

那智大社の御祭神は“熊野夫須美大神”で、“伊邪那美大神”の事でもあり、

諸々を結ぶ「結宮」とも言われるとの事！まさにピッタリのタイミングではないでしょうか？^^

丹生都比売神社は、交通の便が今一つだった為、思い切ってその中に飛び込む？！ことにし、

予定を一日延長して、神社の近くにある豪華？なお宿を予約しました。

(出費は痛いですが^^) 宿からは、高野山への送迎サービスがあり、ものすごく助かりました。

いつも一人で動く時は、ビジネスホテルとコンビニ弁当なので、今回は超スペシャル版です！ヤッター！

今思うと、丹生都比売の傍で過ごした夜が、この旅のメイン、核心の一時だったのでは？と。^^

庭続きの広々とした部屋に、たった一人でいるのはもったいない気がします…。

あらゆる全てが、今ここ、地上セルフのハート(愛)で一つとなる！

宙に向かって、「今夜はフリータイム！(時空の制限を超えて)みんなここに集まれ～！」

と叫び、テラスでいつまでも夜空を見上げて過ごす、最上の時間でした。^^

自身は、なにものでもあり、なにものでもない——。

自分など、どこにもおらず、自分でないものなど、一つもない——。

一見、正反対の言葉が、そこでは、なんの矛盾もなく、成立しています。

二極が生まれる前の世界、“ワンネス”の世界が、そこに広がっていたのかもしれませんが。

丹生都比売を、“瀬織津姫”とする場合もある事を、後に知りました。

瀬織津姫は、スサノオ神率いる祓戸四柱の一柱で、龍神でもあると言われます。

その日、電車の駅まで迎えに来てくれていた宿の車に乗り、途中にある小さなトンネルを抜けた途端、

天気が一変?! ザ～ッと雨が降っていて、ビックリ?! 龍神様のお迎え…?と感じたのでした。^^

そして素敵な一夜が明け、翌朝再度、丹生都比売神社へと出かけ、本殿を撮った写真がコチラです。



目が回る～>(*o*) 回転するエネルギーの渦、まさに龍神の姿そのままではないでしょうか？

丹生都比売、瀬織津姫と、名前や姿は変わっても、その核心に流れているのは愛のエネルギーであり、

高野山が、丹生都比売(愛の女神)を中心とした、巨大な“新G曼荼羅”?!に見えてきました! ^^

その後、宿から高野山へと送っていただき、降ろされたのが、“奥之院入口”でした。

たくさんの御墓…、時代や宗教を問わず、歴史のすべてを抱くようにして、空海はそこにあります。

(いつものように)感謝のご挨拶をし、地上の天国、ミロクの世界の創生に向けての決意を述べ、

帰り道を下っていたのですが、なんだか周りの様子が変わります。

ふと見ると、すぐ直前に、生身供(空海の元へと運ばれる食事)の列が迫っていて、ビックリ?!

自己の意識は、どこか別の世界にあったのでしょうか? 慌てて横へと逸れ、控えました。(^^;
その瞬間に感得した事? が、「空海は、確かに今も生きている! 私達の心の中に——」でした。

空海入定の際の御言葉が、「自分は永遠の禅定に入り、弥勒菩薩のもとで皆を見守る。」

であったとされ、弥勒菩薩のもととは、はるか彼方にあるのではなく、

自分自身が弥勒であることに気付いた、私達一人一人の“心の中”なのではないでしょうか?

そしてそれは、この地球でもあります。^^

空と海、そのままの空海さんへ! 新Gマスターの皆様(愛と光の使者の皆様)へ!

∞の愛と感謝を込めまして、ようこそ! <<地上の新Gコーナー>>へ!!

9月の、地上の新Gコーナー誕生に続き、10月、NMCコーナーから発進したのが、

(先に述べた)コンテンツ『**スーパー宇宙アセンションに向かって!**』

3D地球卒業メッセージ(卒業論文?!)でした。^^

地上セルフは気付くと、地上年齢60歳?! 暦がぐるりと一回りする“還暦”を迎えていました。

60歳ともなれば、どれほど立派になっていることか? と思っていましたが、何も変わっていない?(笑)

とりあえず、締めめの何かをしなくては? ということで、このタイトルとなりました。

アセンションという観点で人生を振りかえってみると、まるで宇宙シアターを見ているような感じです。

50歳までが序章で、アセンションを学び始めた後半の10年が、ようやく第一章という感じでしょうか?

今だからこそ、このように冷静に言うことができますが、50年はもの凄く長くて、真っ暗闇で…、

よくここまで来たもんだ!(自分にお疲れ様を!^^)

このコンテンツの中に、後半の10年で学んだ沢山の事を、忘れないうちに、

あれもこれもと詰め込もうとして、早口でしゃべっている…、そのような気がして自分でもおかしくなりました。

アセンションは“螺旋上昇”とされ、最初の内は、なんだか同じところをぐるぐる回っているだけで、

遅々として進んでいない(全く進化していない…)と感じてしまいますが、

そのうち徐々にスピードが速まり、上っている感じがし、やがて垂直上昇↑となっていくなされます。

まさにそのような感じでしょうか? 次から次とへと、(見えない世界では)莫大なことが起こっている気がして、

これまでの体験を、まだ記憶があるうちに、みんな書いとかなくちゃ、という感じです。^^

今回のコンテンツは、期待と決意を込め、誕生日前に書いたものと、

誕生日を過ぎてからの事を記した追記版の、二つがあります。

3D 卒業宣言をして迎えた誕生日！どんな素晴らしい事が起きるのか？

超楽しみな地上セルフでしたが、実際はこれまでと何も変わらない、地味～な誕生日でした！（笑）

だからこそ？気付いた事がありました…。

何かを、自分の外側に求めている限り、真の進化（アセンション）はないのでは？と

外側とは、3次元＝これまで生きてきた世界であり、そこに何を求めても、3次元が広がっていただけです。

アセンションとは“意識”の進化、上昇であり、完全なる自己の内側からはじまっていくもの…、

その覚悟を決めると、回りの世界が違って見えてきました。

どんな時も情報は∞に溢れていますが、これまでは、どこか、自分には関係ない…と感じていた事が、

あれも、これも自分の為にある！と思えてくる…？！手持ちの駒がグン！と増えた感じ？

自身の立っていた場所が、数段階グレードアップ？しているような感じです。^^

そして“錬金術”という言葉が浮かびました。

最も狭義には、化学的手段を用いて、卑金属から貴金属（特に金）を精錬しようとする試みのこと。

広義では、金属に限らず、様々な物質や人間の肉体や魂をも対象として、

それらをより完全な存在に錬成する試みを指す。（ウィキペディア）

これまでは魔法のようなもの？という感じで、あまりピンとこなかったのですが、

魔法も錬金術も、一つの“術”＝技術であり、誰にでも可能な事なのかもしれない？と思えてきました。

着実に、自身の住む世界（可能性の幅）が、これまでとは、違っている感じです。

アセンションとは、ある日突然、世界がガラリと変わってしまうのでなく、

一步一步、意識の階段を上っていくことであり、とても自然な進化の道のりなのではないでしょうか？^^

“地球”という惑星は、明確に次元上昇（アセンション）を初めていると言われます。

私達は、今のところまだ3次元の地球（旧地球、仮想世界）に生きているので、身の回りには、

様々な混乱（創造の為の破壊、浄化作用）が見られますが、決して同化しないこと、

3次元意識が創り出した（過去の）世界にはまり込んでしまわない事が、ものすごく重要なのだと思います。

出来るだけ屋外に出て、本当の地球＝美しい自然界に親しみ、

感謝と喜びのエネルギーを協働創造していくことが、大切なのではないのでしょうか！^^

このコンテンツで、最後に取り上げているのが、地上セルフの“5つの願い”(二つ増えてます、笑)の一つ、自身の宇宙 MAP に、中今どうしても必要！と感じる、皇道(皇の道、皇学)についてです。

地上から(子供達が)、根源の究極の愛の源(根源母神の元)へと、真っすぐに上っていく道、それは太陽の道、グレート・セントラルサン・ネットワークであり、新 G のミッションそのものでもあります。^^

私達は皆、根源(太陽)母神から生まれた、神聖なる愛(神)の子供であり、

∞の可能性を秘めた、かけがえのない存在であるはずですが、

人は何故生きているのか？私達にはどんな可能性があるのか？どこからきて、どこへ帰るのか？等、

日々を送る事で精一杯だったり、無気力だったりして、最も大切なことを何も知らない…、

疑問にも思わないのが、私達現代人の姿ではないでしょうか？

自己の中心に拠り所となる軸(道)がなく、光を見出すことが出来ないまま、ただ流されていく…、

新しい地球は、違います！^^

迷えるすべての子供達を救いたい！

宇宙の真実を学ぶ事は、決して難しいものではなく、子供からお年寄りまでの誰もが、

楽しみながら、歩みはじめることの出来る“道”なのだと思います。

それが、根源母神による、根源アセンションプロジェクトであり、皇(根源)への道、“**皇道**”、

=“皇学”創生です！^^



《大祈願》

2023年の5月に発進したコンテンツが「大祈願」です。^^

その二年前の2021年5月の事、朝日に向かって根源の光のエネルギーワークをしていると、

何故か突然、『大祈願』が浮かんできたので、

※大祈願…宇宙の全ての愛と光のマスター(スピリチュアル・ハイラーキー)を、地上に召還する力を持つとされる。

その頃、自己のマカバ(宇宙の乗り物)のイメージで作成していた画像を背景にして、
自分流に言葉の一部を置き換え(笑)、白山さんのコーナーから、全宇宙に向けて発進しました！

その時は、自身の核心(魂)から響いてくる思いを、そのまま表現した感じです。

それから二年後の2023年5月に、再び、何故か「大祈願」が、意識に浮上してきました？！

2021年の時は、自己の中心の思いであり、小さな“テン”という感じでしたが、

2023年は、そのテンが大きく広がって、マルとなっている(マルテンとなっている)ような…？！

地上の白山(△)に、宇宙の全ての高次(新G他)(▽)の愛と光が統合された、

宇宙大の六芒星(☆)が生まれ、その中心に立つ地上セルフの宣誓＝「大祈願」！という感じです。

ここには、「自身が上がったところまで、高次が降りてくる」というアセンションの法則(六芒星)と

“マルテンの形象”(宇宙創造の型、神界の象徴)が見える気がします。^^

大祈願

2023. 5

われらが人類と呼ぶ中心より

根源の愛と光の大計画

“根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu) SUN”

を遂げさせたまえ！！

根源太陽母神の究極の“愛”と“光”

ハム山の“力”(愛と光の、∞の宇宙ネットワーク)とをもて

地上に大計画を興させたまへ！！



2021年のテン(核)
(最初の大祈願)

根源アセンションプロジェクト
HAKU(hamu) SUN
<http://ascension-hokuriku.net/>

2023年5月24日、

“白山手取川ジオパーク”が、“ユネスコ世界ジオパーク”に、正式認定！

との素晴らしい発表がありました。

そこから生まれたのが、コンテンツ『祝・白山手取川ジオパーク』です！^^

自身は気付くと、地球全体や宇宙のことばかりを考えていて、

身の回りの大切なこと、3Dの情報に疎い。。。(^_^; (特に流行りのもの、IT関連はさっぱりです。)

すぐ近くの公園でも、白山手取川ジオパークの標識をみかけていましたが、

ジオパーク？そんなものがあるのか…、で終わってしまっていました。

ですが、地元白山手取川ジオパークが、世界のジオパークに認定されたとの情報は、

ものすごく重要である気がしてきました…。

よく耳にする“世界遺産”は、国際的に価値ある建物や土地などの“保護”を目的としたもの
と言われますが、“ジオパーク”は保護に加え、持続可能な開発や、教育、観光等の地域振興等、

“活用”＝“創造”も目的としていて、そこには“神意”があるのでは…と。

これまでのように、人間本位の創造ではなく、自然界と調和し、神(自然)・人が共に豊かな、

未来社会を創造していく“雛形”ともなるのではないのでしょうか？

白山と手取川という大自然＝神々が、新しい地球創造に向かって動き出した?!と感ずります。^^

白山手取川ジオパーク Web サイトの中に、『ストーリームービー』があるのですが、

その一番最初に、なんと、自身の生まれ故郷が登場していて、ドッキリ?!

その先を見ていくと、またまた、ドッキリ…?!

まだ日本海(日本国)がなかった太古の昔に、ユーラシア大陸の、東の端から分かれ出た

“日本列島”の姿をみた瞬間、国常立太神(地球神)の“意志”が見えた?!

日本＝“国常立太神御龍体”が動き出した?!と感じ、地上セルフは居ても立っても居られず、

白山比咩神社、金澤神社、金劔宮と、三つの神社の正式参拝を決めました!

一番に向ったのは“白山比咩神社”で、6月おついたち(1日)の10時に参拝しました。

その時間帯は、氏子総代である大きな会社のトップの方をはじめとした、様々な企業の方がいらっしやり、

白山比咩神社を常日頃から崇敬し、経済的にも支えている、熱心な方々だったのだと思います。

自身は、ちょっと場違いかも…と感じてしまったのですが、玉串奉納となり、総代の方に続き、

一般の参拝者代表3名の中の一人として、名前を呼ばれた時、

『根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN』?!と浮かび、そっかー!!

私は、その代表に違いありません！(若干一名ですが…笑)

『根源 AP・HAKU (hamu) SUN』は、宇宙の愛と光(叡知)が結集する地上のポータルであり、

私は、あらゆる全てと共に、ここ、神聖(新生)なる“白山”から、

根源の愛でワネスの地球、そして宇宙(NMC)を創造していきます!!!

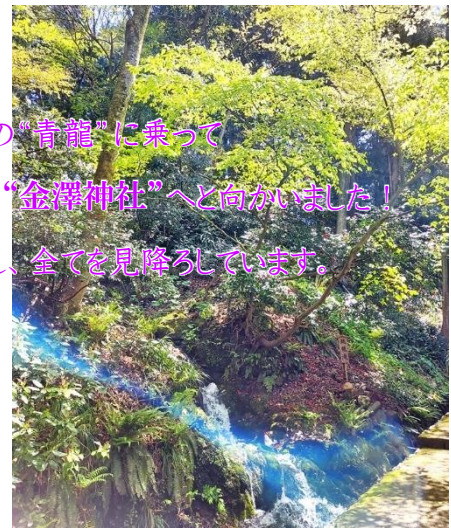
ただの個人的“アセンション日記”としか思っていなかった『根源 AP・HAKU (hamu) SUN』が、

自身にとって、これほどまでに大切なエネルギー場、現実創造の地盤となっていた事に、

大きな驚きと、深い感動を覚え、白山さん正式参拝を終えることができました。

目に見えない世界からの、多大なサポートに感謝です。<(_)>

白山比咩神社 琵琶滝



次は6日、3つの神社をつないでいる？青い光の“青龍”に乗って
金沢の地名の由来となったとされる“金城靈澤”が傍らにある、“金澤神社”へと向かいました！
社殿の屋根の天辺には、見事な風格の“鳳凰”が鎮座し、全てを見降ろしています。



Webより転載



鳳凰山と金城靈澤

御祭神は、菅原道真公(学問の神・前田家の先祖)、白蛇竜神(金運・災難除の神)、

白阿紫稻荷大明神(商売繁盛の神)、琴平大神(交通安全)

前田斉広公(12代藩主、初代は利家公)、前田斉泰公(13代藩主)となっていて、

“学問の神”と言われる“菅原道真公”は、新Gマスターのお一人なのだと思います。^^

(“白蛇竜神”、“白阿紫稻荷大明神”の“白”からも、“白”色同朋団=GWBHがイメージされます。^^)

前田家12代、13代とある事から、自身には、12次元キリスト庁と、13次元聖母庁が浮かびます。

以前昇殿参拝をさせていただいた時、ここは“礼拝堂”だったのでは？と感じる、

深い愛のエネルギーに包まれていて、聖母マリアとイエス・キリストがイメージされたからです。^^

金澤神社は前田家の、隠れキリシタン(真実の愛)を護る礼拝堂であったのかもしれない…。(憶測です。)

ちなみに、自身の中では、“至高の愛”を西洋風に表現すると、“キリスト教”となり、

日本風の表現が“神道”であり、どちらも同じものです。^^

金澤神社のすぐ傍には、水が尽きる事なく湧き出すとされる泉(澤) = “金城靈澤”(方形造)と、

その隣に寄り添うように、鳳凰を模して造ったと言われる“鳳凰山”があります。

ちょっと浮世離れた雰囲気、澄み渡る空気と、眩しい光！自身には、“シャンバラ”が連想され、

金澤神社は、この場を守る為にあるのでは？と。^^

今回、青龍に乗ってきた？かのような感覚があったのですが、そこから浮かぶのが風水(環境学)です。

四方に靈獣とされる“四神”が護る場所は繁栄するとされ、青龍は東の守護神です。

中国の神話、天の四方の方角を司る靈獣である(別名、天之四靈)。四獣(しじゅう)、四象(ししょう)ともいう。東の青龍、南の朱雀、西の白虎、北の玄武である。五行説に照らし合わせて、中央に麒麟や黄龍を加え、数を合わせた上で取り入れられている。

麒麟や黄龍を入れた場合は五神、あるいは五獣と呼ぶ。(ウィキペディア)

金城靈澤の天井裏には、まさに“黄龍”が描かれていて、自身には少し淋し気にみえていました…。



金澤神社はこぢんまりとした神域ですが、宇宙規模の莫大な時空が凝縮されているようで、

大切な何かが、今日までひっそりと守られてきた…、そんな事を感じます。

今回、ここに来る事を決定的にしたのは、Webに掲載されていた一枚の写真でした。^^



舞楽 蘭陵王

なんと見事な対比の妙、美しさでしょう！一瞬で心奪われました。

伊勢外宮昇殿参拝の時に表れた、神人？“蘭陵王”が、再び登場です！

天上裏には、もの凄い形相の“白蛇龍神”が、睨むようにしてあり、
その下には、鮮やかな赤の衣装を身に付けた、美しき武将“蘭陵王”が舞っています。^^

赤と白、美と醜、愛とカ…、正反対の構図に見えますが、

それは同じものの、表と裏、陽と陰でしかない…、ではないでしょうか？

白蛇龍神の姿が、あまりにも恐ろしい——が故に、この場(神社という神聖なる場所)にある事に、

違和感を覚え、浮かんだ言葉が、“**良の金神**”です。

良 = 鬼門、金神 = 祟り神であり、誰もが忌み嫌う存在として押し込めてきた良の金神 = 白蛇龍神、

その真の姿は、地球そのもの(地球神)であり、日の本の“黄金龍体(黄龍)”でもある

“国常立大神”だった——。

一方、蘭陵王は、あまりに美しかったために、兵士の士気が落ちるのを恐れ、
戦場には面を付けて臨んだと言われ、自身は、もしかしたら女性だったのでは…？と感じていて、
舞楽“蘭陵王”は、女性性と男性性の完全なる統合の美、完成された人の姿の象徴として、
また、秘密として、長い間語り継がれてきたのかもしれない…、そんな事を思いました。

白蛇龍神が、良の金神“国常立大神”ならば、

蘭陵王は、そのパートナーである、坤の金神“豊雲野大神”とも言えるのではないのでしょうか！？

二元性のすべてを内包し、どちらにも傾くことのない精練の美、旧世界の遺産がここにある…。

だから、この写真に魅了されたのかもしれませんが。

「時来たりて、共に立ちたり！」、そのような響きを感じます。^^

国常立大神を、良の金神と呼び、長い間封じ込めてきたのは、他でもない、
真の自己を忘れ、大切なものを押し込めてきた、私達自身の小さな意識そのものだったのでは…？

と気付いた時、金城霊澤の天井裏で、少し悲し気に見えていた良の金神が、
最愛のパートナーである坤の金神と一体となり、“鳳凰”となって、大空へと飛び立った？！

鳳凰の、“鳳”は雄、“凰”は雌とされ、国常立大神と豊雲野大神の一体化とは、
私達人類の中にある、女性性(愛)と男性性(力)の、大きな統合を意味するのではないのでしょうか？

金澤神社における正式参拝は、ただただ、もう大きな喜び！というしかないものでした。

玉串奉奠の際、赤いアーチ状の橋を渡り、最奥にて、自己の眞を捧げました。
(赤い橋には、“アンタカラナ”と呼ばれる、人の魂と根源母神をつなぐ、揺るぎない愛の柱がイメージされます。)

神界の最奥＝根源母神の懐へと飛び込んでしまった？！かのような歓喜、感動でした！^^

この度の正式参拝の最後、10日は、“金劔宮”を訪れました。

白山さんが、宇宙の総合窓口？とすれば、

金劔宮は、地元日本神界(龍宮神界)の窓口のようなイメージです。^^

正式参拝は(なんと?)初めてだったので、電話で確認し、予約をしてから出かけました！^^

過去に、有名な金運のパワースポットとして取り上げられたことから、一時期は大勢の人が押しかけ、
大変な思いをされたようですが、出来る限り個別に対応するよう心掛けているとの、宮司さんの真心や、
祭典の所作等にも、古き良き伝統、誠を感じ、古神道？と浮かぶ、清々しい昇殿参拝でした。

宮司さんより最初に、「ご祈願の内容はどのようなものですか？」と尋ねられたのですが、

どう表現すればいいか？『根源 AP・HAKU(hamu)SUN』を口にすれば、
いくら時間があっても足りない…、理解していただけるだろうか…？とアレコレ迷っていると、

「では、諸々ですね！」とのお返事？！

えっ？！ざっくりだけど、じっくり？！地上セルフは納得してしまいました。(笑)

根源アセンションプロジェクトは、まさに神天人が動く、“諸々プロジェクト”ではないでしょうか？^^

諸々が叶う日が、超～楽しみです！^^

三つの神社の正式参拝を終え、地上セルフのこれまでの学びの全て、中今の願いの全てを、

神界(&天界)へと、届けられた気がします。^^

あとは野となれ、山となれ！地上セルフの小さな思惑は、大いなる創造の邪魔と感るので、

流れに任せ、ワクワク(魂全開！)で、目の前の事に取り組んで行きたいと思います。^^

《一厘の神仕組み》

2023年10月9日、初の“出雲大社”参拝が叶いました。^^

伊勢と出雲は、日本の二大神域と言われるので、どうしても訪れたい場所でした。

ネットに掲載されている出雲大社の写真を、初めて見た時、

巨大生物の在り処？社殿ではなく、“生き物”のように見えたことが思い出されます。

出雲に行こう！と決めた時、最初に浮かんだのは、

『八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣作る その八重垣を』との歌で、

調べてみると、素戔鳴尊が妻の奇稻田姫を思っ詠んだ、日本最古の和歌であることがわかりました。

出雲大社の奥には、日本のすべての神々を見守るかのよう、スサノオ大神の社がありました。

出雲を訪れる直接のきっかけとなったのは、

実父の四十九日の法要が、10月10日に迫っていたからです。

(忌中に神社を訪れるのは不謹慎との、ネット記事もありましたが？)

自身にとって四十九日は、人がこの世からあの世へと移行する、最後の日という感じで、

父がまだ傍にいてくれる間に、どうしても、(何故か？)出雲へ行く必要がある！と思えてきたのです。

費用と時間をなんとか工面して、9日早朝に出発しました。

父とは？ですが、地上セルフをこれまで大切に守り育ててくれた、かけがえのない存在であり、

宇宙大の私の視点から見れば、地球と宇宙そのもの、大いなる父性、男性性の象徴でもあります。

(そう言えば、10月10日は、地球神＝国常立大神の命日ではなかったでしょうか？)

9日は出雲駅伝が開催される日！出雲大社へと向かうバスの両側に、各大学の応援団がずらりと並び、華やかな応援合戦を繰り広げている姿が目飛び込んできて、出雲の神々の、歓迎と応援のメッセージを感じました！（喜びの便乗、笑）^^

境内を一回りした後、昇殿参拝をさせていただきました。

参拝席の左右の柱？に、“鏡と剣”のようなものが下げられているのが目に止まり、出雲大社の御祭神は“大国主大神”ですが、“アマテラスとスサノオの宴”とイメージされました？！

祝詞の間、自己の核心＝“ハートと魂”に意識を集中していると、見えてきたのは、

燃え盛る赤い愛の炎に包まれた丸い鏡（自己の魂？）のようなもの。

赤い炎がやがて、白の渦模様？へと変わり。。。白の渦模様とは…、もしかして雲?!では？

そう言えば、空港からバスで来る途中、何故か前方に見える雨雲？にやたらと目がいき、

最初に浮かんだスサノオ神の和歌も、「八雲立つ——」で、雲です。

極めつけは、今いるここ！＝出雲大社です。^^

（おまけに、出かける少し前から、自室の窓の外に大きなクモが巣をつくっていて、何故こんな所に？でした。笑）

もしかしたら、この“雲”とは、国常立大神の妻神とされる“豊雲野大神”の事では？！

国常立大神が地球という大地であるならば、豊雲野大神は大地に豊かな恵みをもたらす雨です。

この二柱によって、美しい地球が生まれ、育まれ、万物が生かされているのだと思います。

艮の金神“国常立大神”＝力、坤の金神“豊雲野大神”＝愛とも言え、

両神が共に復活することによって、“力愛不二”の、ミロク世界が誕生するのではないのでしょうか？

スサノオ神は、国常立大神の分身であり、スサノオが妻を思い詠んだ歌、「八雲立つ…」は、

国常立大神が豊雲野大神を思い、詠んだ歌でもあったのかもしれない。

『八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣作る その八重垣を』は、

なんとなく途中で終わってしまっている気が…、後に続く言葉あるのでは？と感じていました。

八重垣とは、嚴重に張り巡らされた“結界”の事でもあり、ここ出雲（雲出る地）で、国常立大神が長い間、大切に秘め守り通してきた豊雲野大神が、いよいよ地上に顕現する時が来た！

この歌の最後に続くのは、『その八重垣を、取り払え！』＝封印解除せよ！なのでは？と。^^

何故、父の四十九日までに、出雲に行かなければならぬと感じたのか？それは、父なる国常立大神が、母なる豊雲野大神を呼んでいたから…、共に再び、この地上に立つ為に！

封印解除とは、真実を理解することであり、がっちり固定されていた古い意識の殻を破り、

進化、上昇、拡大していく“アセンション”そのものであるような気がします。^^

『雲湧き出づる故郷、出雲』も、追記版を作成しました。

追記版とは、第一弾を発進した後に生まれる、ふとした思いであり、あらゆる全てとの更なる、コ・クリエーションの場であり、それは∞に続く…と言えるのかもかもしれません。^^

出雲大社に着いて、参道を歩いていくと、正面に“松の木”が見えてきました。
白山さん表参道で目にするのは杉の木だからでしょうか？あれっ？と思い、何故かウキウキします。

帰宅後に調べてみると、大本教で、“松の世”は、“ミロクの世”を指す事ことがわかりました。

自身はそこに、“ミロクの世の始まり”を感じたのだと思います。^^

気になっていながら、第一弾では触れなかったもう一つに、出雲で最後に撮った写真があります。

『一厘の神仕組』？と感じる、とても大切なことが見えてきました。

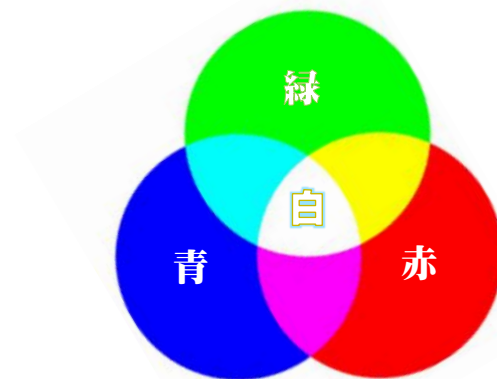
この写真は、神迎え神事が行われるとされる“稲佐の浜”から、日没後、神迎えの道を通って、再び出雲へと帰った時に写したもので、なんという事もない普通の写真なのですが、その色合いに、何故か？惹かれます…。

“青”く見える空と、信号機の“赤”、灯籠の“緑”の三色が、何かを主張している？気がします。

そこで浮かんできたのが、“光の三原色”で、私達がテレビやパソコンの画面等に見る、様々な色彩は、すべてこの三色の組み合わせから、生まれたものであると言われます。

神は、“創造の光”であり、この三つの光(色)に、三柱の神々がイメージされました。

赤には、国常立大神(霊の御魂、日の象徴)が、青には、豊雲野大神(瑞の御魂、月の象徴)が
緑には、霊と瑞とを生み出した“天之御中主大神”(大宇宙)が。

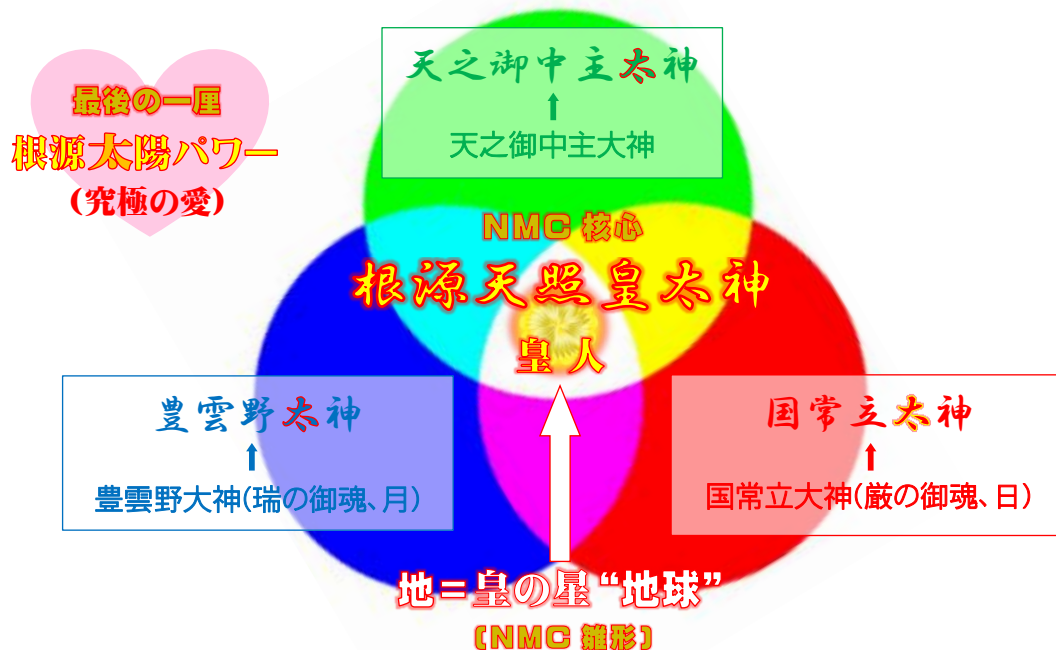


そして、これまでは見えていなかった(意識してこなかった)、“もう一つの色”が見えてきました！

それは中心にある、全てが統合された“白”＝“光源”＝“太陽”です。^^

それが、神仕組みの『最後の一厘』と呼ばれるものなのではないでしょうか？

図に当てはめると、このような感じです。



光の三原色の中心にあったのは、あらゆる全ての光が統合された“根源の太陽”

=“根源天照皇太神”と呼ばれる存在です。

まさに、○の中に、\が入った！という感じ…、三柱の神々の中心に、“根源の太陽”が輝き、あらゆるすべてが、根源の光の源へと帰っていく“根源へのアセンション！！”の時となりました。^^
そしてなんと！その中心舞台は、中今、根源天照皇太神が存在する、この“地球”なのでした！

根源天照皇太神は、NMC (新宇宙) の核心であり、地球はその“雛形”=“皇の星”です。

日の本 = 太陽の国 “日本” に住む私達は、その分御魂を持つ人 = “日戸” であり、

太陽ポータルである日戸が、究極に進化(神化)した姿が“皇人”です。

自身の命題(命の課題、生きる目的)であった、「神とは？」の、

究極の答えが、ここにあります！^^

「ここまで来るのに、60年もかかってしまった…、」はなく、
宇宙の果て、根源を旅立ち、宇宙史の全てをにかけて、今ようやくここへとたどり着いた！！
= 帰ってきた！！ であり、新宇宙開闢の時とされる、2013年伊勢遷宮祭で一体化した、
自己の最高の御神体とは、“根源天照皇太神” だった！！です^^

どんなに遠い道のりでも、そこが“究極の愛の源”ならば、

自身は、永遠に歩み続けるに違いありません！^^

(あらゆるすべてに、∞感謝を)

2024 辰年(龍年)を目前にした、11 月、

『地上セルフから始まる“ハート”のピラミッドワーク』に取り組みました。^^

“ピラミッド”は、愛と光を∞に拡大するパワー持つと言われ、

また、異次元への入口であるとか、無から有を生み出すものとされます。

クリスタル・ピラミッドの中で、地上セルフのハートから愛を発現し、地球、宇宙大へと拡大していく

エネルギーワークを実践し、その時のイメージを、アニメーションにしました。

イメージを画像にすることは、想像を創造へとつなげる、自身のアセンション・ツールでもあり、

これまでのアニメーションと、ちょっと違うのは、その中に

人の形のシルエット＝“明確な地上セルフの姿”を登場させている点です。

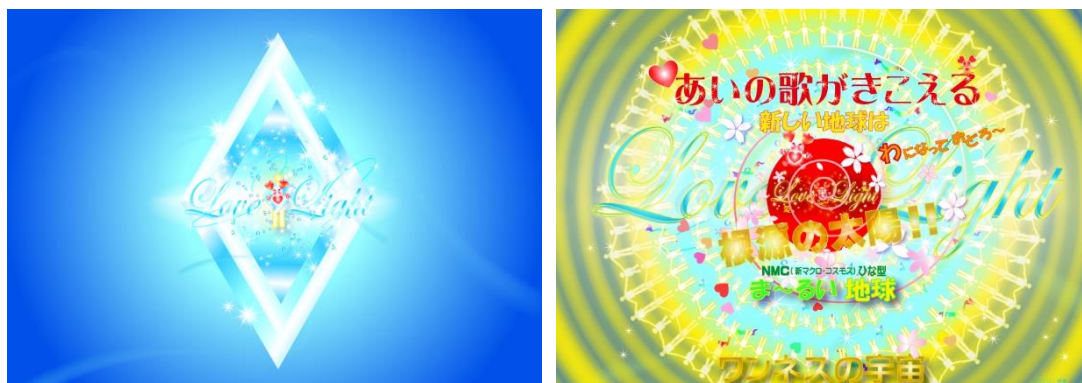
なので、3次元では“アニメ”＝仮想物語でも、真実の世界(5次元)では、ノンフィクション＝実話?!

アセンションのワンステップとも言えるのではないのでしょうか? ^^

第一弾は、《地上セルフのハートの愛[ハム]》が、

新しい地球の中心から、どんどん広がっていき、やがて宇宙全体が愛になるイメージで、

宇宙の全てが“愛の歌”を歌っている…そのような感じでした。^^



自己の“ハートと魂”は、そのまま、新しい地球の“ハートと魂”であり、

魂は、グレートセントラルサンネットワークによって、“根源の究極の愛の太陽”とつながっています。

クリスタル新地球の中心(日の丸の中心でもあります)には、根源の太陽が燦燦と輝き、

地上の一人一人が、そのポータルです!

みんなで手をつなげば、根源の愛と光の輪が幾重にも重なり、地球の全てを包み込み、

地上の私達の喜び＝愛と光が、そのまま拡大した世界が、“ワンネスの宇宙”ではないでしょうか?

そんな夢物語で世界が変わるのなら苦労しない…、と思われましたか? (笑)

いいえ、すべての始まりは“意識”=“エネルギー”であり、
神・天・人が一つとなり、全てを一からはじめる、“新宇宙開闢の時”が、今です！^^
私達のこれまでの宇宙史の全てをかけて、更なる、新しい宇宙史の創生
= **新たなる冒険の物語、創造の旅 がはじまっていく——！！**
そのはじまりの小さな“テン”が、地上セルフ一人一人の夢、願いです！^^

第二弾は、《**クリスマスバージョン**》？となりました。

根源太陽とつながった地球の中心から、ハムサンタ？が飛び出します。

最初に現れたのは、様々な色の星(スター)を持つ、12の“ハム・スター”？！

それに続いて、たくさんのハムたちが、珠やプレゼント？を持って、次から次へと出てきます。

緑色の珠は、木や植物等の自然界の力を象徴するものようで、中心から緑がどんどん広がっていき、
やがて、根源からのプレゼントでいっぱい、“**地球大のクリスマスツリー**”が誕生しました！



メリークリスマス・ハム！！

どのプレゼントを選びましょう！？

このツリーに成る実は、どれもが、摘んでも摘んでも無くならない、∞の果実です。^^

第三弾は、新年のご挨拶を兼ねた、《**節月バージョン**》？！となりました。

クリスマスツリーに真っ白な雪が降り積もり、新年を迎えました。

2024年は辰年=龍の年、日の丸(日本)の中心から金龍、銀龍が現われます。

金龍は日の本の黄金龍神=“国常立太神”であり、

いよいよ、根源太陽の国“日本”が、本格的に動き出す！そのようなメッセージを感じます。^^

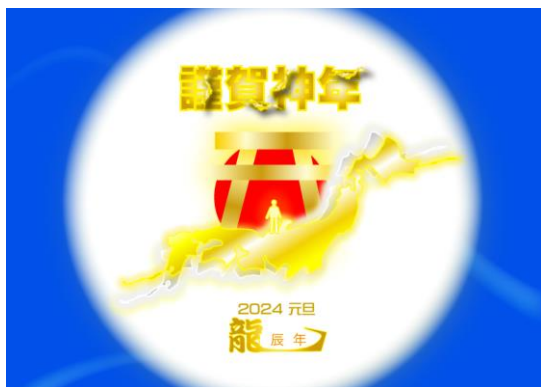
銀龍は、黄金龍のパートナーである“豊雲野太神”であり、その姿は変幻自在？

美しい“虹色の龍”となって、新しい地球の持つミロク(36)の光=“∞の可能性”を引き出していきます。

金龍・銀龍の背に乗るのは、根源太陽ポータルである“菊理姫”！

あらゆる全てを根源太陽へとつなぎ、愛と光を∞に拡大していく、“神仕組の一厘”でもあります。^^

地球は新しい宇宙の、“根源の光の一番星”！ みんなで、愛の夢=“現実創造”はじめませんか？



そして最後、第四弾は、《地上の新G&皇の星地球》編？！

クリスマスツリー編で最初に登場した12のハムは、“新Gマスター(ハム・マスター)”だった？！

地球大のクリスマスツリーは、“宇宙の生命の樹”であり、

根源の母神から子供達へと贈られた、愛のプレゼントでもあります、

それは私達子供が、様々な宇宙史を通して、

経験し、学んできた、命の響き(生命の躍動)——、愛・喜び・感動の数々でもあり、

私達は誰もが、その中から好きなものを選び、素晴らしい未来創造の為に活かすことができます！^^

新Gは、“地球の中心太陽”と“根源の太陽”をつなぐ、グレート・セントラル・サン・ネットワークであり

人が根源へと帰っていく、“太陽(究極の愛)の道=皇道”の守護者です。^^

地上セルフが、新Gと共に歩んできた道(皇道)の先に見えてきたのは、“皇の星地球”！



こんな風にアニメーションにする事で、これまで漠然と感じていたエネルギーの世界が

自己にとっての真実 = “現実” となって浮かび上がってきた感じがします！ ^^

最後の画像には、“黄金龍” が登場しています？！

自分で描いておいて、不思議に思うのは、いつものパターンですが(笑)

龍とは、“流”=エネルギーの流れのことでもあり、自身の本名が、龍そのまま？である事から、“龍”との深いつながりを、感じていました。

中今で、ここに現れた龍に意識を向けてみると…、それは、遠い遠い昔のこと——。

いつも一緒にいたかのような、懐かしさを覚えます。

ふわふわであったかで、とてもいい香りのする、美しい毛並みをもつ“根源の光の龍”？！

その中に、優しく包まれていた子供の頃の、安心感のようなものが蘇ってきて、涙が溢れてきます。

私はその龍の元を発って、この地球へと、冒険の旅にやってきたのかもしれませんが？

その龍が、また私を迎えにきてくれたのでしょうか——？

私が、龍のもとへ帰ってきた？！

ではないでしょうか？ 懐かしい故郷の“愛の香り”がしています。^^

ここは、私が遙か昔に旅立った、究極の愛の源である、皇(根源の光)の星“地球”。

決して終わらない物語、『ネバーエンディングストーリー』のはじまりです。

2024年1月1日、石川能登大地震！？

金銀の龍を描いた年賀状とともに、新年のご挨拶と展望を込めたブログを発進した途端、

グラグラグラ～ ときて、何が起こった？！

石川県能登地方を震源とした震度7の地震?! 地上セルフはこれまで体験したことがないものでした。

自宅は幸い能登方面ではないので、壁の額が外れた程度の被害で済みましたが、その瞬間は正直、「もうダメかも？」と思い、2階の自室から、階下の家族の元へと急ぎました。

人が生きていく中で最も大切なのは、人と人との絆なのかもしれない…と実感しました。

私達が地上で経験する事は、すべて私達自身(真の自己である魂、自己の現実の創造主)が

選択した事であり、進化の為の学びとしてあると言われます。

このような現実を目の当たりにすると、不安という、3Dの小さな意識に引きこもってしまいがちですが、

そんな時こそ、明るい未来(愛と光の高次元界)の方向を向く必要があるのだと思います。

自身の中で、能登半島と紀伊半島とを結ぶラインは、日本列島の“縦軸”！のイメージ、
能登半島を頭とした、“龍神”の姿を感じていました。

そして中今、白山比咩神社の“奥の御祭神”として、“国常立太神”の復活を感じるので、
日本列島の縦軸＝“日の本の黄金龍神”であり、

この度の地震は、いよいよ、国常立太神が大きく動き出す！との合図なのでは？と。

神の計画のすべては、よりよい未来の為に存在するので、大難を小難に、小難を無難にしていくために、
私達に出来る事は、人同士が助け合い、支え合う事、そして、“祈りと感謝”なのだと思います。

人も地球もエネルギー(意識)で出来ていて、私達の意識の力は∞です。

出来る限り多くの方の意識が、感謝と喜びに満ちたものとなれば、

共鳴の法則によって“集合意識”全体が上がり、それは莫大なエネルギーとなって

地球の意識活動(浄化、調整作業)を、サポートすることにつながります。

私達には何も出来ない…、ではなく、私達こそが、地球を守り支える“最大の力”です！

これほど幸せなことはないのではないのでしょうか^^

4日、新年になって初めて訪れた白山比咩神社、龍神さんの手水舎の上部に掲げられている

明治天皇御製が、新しいものになっていました。

千萬の 神も ひとつに 守るらむ 青人草の 茂ゆく世を



今、神界(&龍神界)も一つとなって、地球と人類の繁栄の為に力を尽くしましょう！

との、神々(地球)からの、力強い“返歌”であるような気がします。^^

自身は2015年から、『白山から∞の愛と光を』と題したブログをはじめました！

月に多くても4、5回、全く投稿できない月もあつたりして、ごく少数の方しか訪れないブログを、よくここまで続けてきたもんだ、と自分でも感心します。(笑)

このブログの“奥の院”とも言えるものが、『根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu)SUN』で、日常と非日常をつなぐ架け橋のようなものであり、新しいコンテンツを発進する窓口ともなってきました。^^

とにかく人前に出るのが苦手(^;…、共有できるような一般的话题にも乏しいため、

はじめはアカデミー関連の何かをテーマとして発進していくつもりでしたが、

アカデミー長の Ai 先生より、「“白山”をテーマとしたものとし、ただ愛を発進して行って下さい！」

とのアドバイスをいただいたことから、このタイトルとなりました。^^

白山、愛？と言われましても…何を書いているのか？さっぱりでしたが、踏み出せば、道が見えてくる？！

これが真実だと思います。^^

コンテンツの作成とまではいかない、日常のふとした思いの中に、とても重要と感じる事があり、

それを記すことで、そこからまた新しい発見、展開があつたりします。

アセンションとは、決して日常とかけ離れたものでないことを、自身が一番学んできました。

1月23日の事、自宅の玄関に飾られていた、梅の木に花が咲き、母が、

「梅の花が咲いたから、見てー！」と言いました。

日常の普通の会話であり、以前の私なら、ただ、きれい～！で終わっていたに違いありませんが、

花の色が、自身が想像していた“赤”ではなく、“白”であったこと、

それは“色”ではなく、“光そのもの”に見えたことから、写真に撮ることにしました。^^

そして、翌朝浮かんできた言葉が『三千世界、一度に開く梅の花』です。

睡眠中、人の意識は肉体を抜け出して、別の世界を訪れているといわれますが、

それは真実なのではないでしょうか？

眠りから覚めると、疑問に思っていたことのが答えがみつかったり、問題が簡単に解決したりして、

自身は寝ている間に、一体どこへ行っているのだろう…？

そんな所に行けるのなら、起きているうちに行けないものか？と、この頃、真面目に思います。(笑)

(話を元に戻しまして…)

これは、大本教のお筆先(大本神諭)に出てくる言葉では？と調べてみると、

大本神諭は、『三千世界一度に開く梅の花、良の金神の世になりたぞよ。神が表に現れて、三千世界の立替え、

立直しを致すぞよ』という宣言(「良の金神の世」の到来と、「三千世界の立替え立直し」)を機軸とする。

(ウィキペディアより)

とあり、“梅の花が咲いた(開いた)”

= 良の金神が世に現れ、三千世界の立替え立直しが始まった！！

との、国常立大神(良の金神)からの、メッセージではないでしょうか？

1月23日は、1、2、3で、ひふみの日？！

ひふみ神事(日月神事)も、国常立大神から降ろされた神示を、自動書記によって記したものとされ

「富士は晴れたり日本晴れ 神の国のまことの神の力を現す世となれる」とあり、

国常立大神が日本に現われ、神国“日本”の大神力を発現することが記されています。

元旦の地震からすべてがつながっていて、それは日常 = 現実に映し出されている感じがします。

自身が再び出会った、懐かしい根源の光の龍は、

日の本の黄金龍神の、母のような存在なのかもしれません。^^



愛と光の新たな冒険(創造)の旅は、今ここから、永遠に続く——

2024.3.20 あらゆる全てに∞の感謝を！ 流美